

みしま MISHIMA SHIGIKAI DAYORI

市議会だより



梅とメジロ 撮影者:渡辺 千春

CONTENTS

11月定例会 議案審議の概要	2
市政に対する一般質問	6
議会の活動 ほか	13
新年度予算のしくみ	14
傍聴席のご案内	16

**令和5年
11月定例会**
11月28日～12月14日
会期:17日間

今回の議案は…

市長提出議案 31件
議会提出議案 1件

この号では次の項目を
Pick up!

Pick up 1
〈議第89号〉
三島市都市公園条例の一部を改正する条例（全会一致）

Pick up 2
〈議第71号〉
令和5年度三島市一般会計補正予算（第8号）（賛成多数）
■補正予算額
1億5,057万2,000円

Pick up 3
〈議第95号〉
令和5年度三島市一般会計補正予算（第9号）（全会一致）
■補正予算額
11億3,275万1,000円

Pick up 4
〈発議第6号〉
幼児期における発達障がいに関する相談体制の強化を求める決議

詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。



三島市議会 検索

Pick up 1
条例改正

地域の活力となる場所に向けて

○三島市都市公園条例の一部を改正する条例

長伏プールは供用開始から50年以上が経過し、老朽化が著しく、安全性が確保できない状況にあることから、令和5年度をもって廃止するための改正を行います。

主な質疑

質疑 長伏プールの廃止に伴う長伏公園再整備の方針は。

答弁 令和5年9月のプールの営業終了に伴い、その跡地の有効活用と整備方針について協議するため、長伏公園整備プロジェクト

チームを結成した。

このチームは副市長を部長として、庁内関係各課を横断的に組織化したもので、長伏プール跡地と、隣接する長伏公園などを一体的に整備する計画について検討を始めたところである。

検討に際しては、多くの市民が気軽に集い、楽しむことができる幅広い世代の交流の場、健康的に子育てができる環境整備、アーバンスポーツの導入による若者の利用などの新たな視点を取り入れた、地域の活力につながるような公園整備を目指していく。

質疑 今後のスケジュールおよび市民意見の反映について。

答弁 令和6年度当初予算に、長伏プールおよび建物の解体工事を計上する予定である。

それと同時に、地元自治会をはじめ、スポーツ団体、子育て世代など、多くの市民から幅広くご意見を伺う場を設けていきたいと考えている。

また、

頂いた意見等を集約し、反映させた基本計画の策定にかかる予算についても令和6年度に



質疑 特別支援学級の設置状況と今後の課題は。

答弁 特別支援学級に在籍する児童・生徒の数は、令和2年度は160人で28学級であったが、令和5年度は約200人で30学級と増加している。今後も在籍数や学級数も増えることが予想されることから、教室や教員の確保が課題となっている。

補正に計上しているのは、令和6年度に見込まれる小・中学校の通常学級や特別支援学級の新設や増設に必要な費用となる。1学級の児童・生徒数は、通常学級は35人まで、特別支援学級は8人までと定められていることから、現時点で見込まれる最大限の新設や増設を想定している。



質疑 校内支援室の現状および課題は。

答弁 現在北上中学校、中郷中学校、山田中学校の3校に設置している校内支援室については、定期的に利用する生徒のほか、一時的に利用する生徒も複数名いる。この支援室は、生徒にとって安心・安全な居場所となっており、その効果は大きいと考えている。

残りの錦田中学校、南中学校、北中学校、中郷中学校においても令和6年度の設置について検討している。

○市道維持修繕事業

3,670万円

令和5年6月初旬の大雨による対応等により、市道の緊急的な補修や対応等にかかる経費が不足するため、必要経費を増額します。

主な質疑

質疑 修繕の箇所数とその詳細は。

答弁 市道を安全に利用してもらうため、職員による道路パトロールや市民通報のほか、自治会・町内会からの要望を受け、道路の不良箇所や、危険箇所を速やかに修繕し、適正に維持管理を実施している。

令和5年4月から10月までの修繕の状況は、大雨による災害対応を除いて230件を実施しており、当初予算に対し、76・7%の執行状況となっている。修繕の内訳は、車道の舗装修繕が85件、歩道修繕が10件、縁石等を含む歩行者保護の安全施設修繕が35件、側溝修繕が49件、その他の修繕が51件である。

計上し、令和7年度の公園整備の着手を目指す。
市民も待望する公園整備であるため、スピード感をもって、取り組んでいく。

Pick up 2
一般会計予算を増額補正

安心・安全を守るために

○小・中学校 一般諸経費

小学校費 1,370万円
中学校費 1,570万円

小学校では、障がいのある児童に配慮して手すりを設置するための費用を追加するほか、特別支援学級の学級数が増加することに伴い、施設の改修および日用品購入のために必要な経費を増額します。

質疑 市道修繕の優先度と残された箇所への対応は。

答弁 修繕の優先度については、舗装のポットホール（穴・ひび割れ）や路面陥没の恐れなど、通行に支障を及ぼすかなどの安全性や緊急性を重視した上で、決定している。また、自治会・町内会からの要望箇所についても、現場を確認した上で対応可能なものは優先的に修繕を実施し、関係機関との協議に時間を要する場合や、施工時期の制約を受ける箇所等については、準備が整い次第、順次修繕を実施している。

なお、令和5年度における11月から3月までの修繕箇所数については、過年度に実施した修繕の実績から推計し、150件程度を見込んでいます。

〈議第71号 一般会計補正予算のその他の主な内容〉

- 職員構成の変動など決算見込みによる人件費 △1億1,085万1,000円
- 過年度児童手当負担金等の確定に伴う国費返還金 5,504万1,000円
- 一般橋梁整備事業 3,900万円
- 防災・省エネまちづくり緊急促進事業補助金（再開発組合へ工事費高騰分助成） 4,200万円
- 一般諸経費 6,000万円（小学校教師用教科書および指導書購入）

一般質問

市議会議員が市に対して質問を行い、適切な市政運営を進めているか、チェックや提案をするものです。
18人の議員による質問が行われ、活発な議論が展開されました。

ここが聞きたい！

一般質問とは…

新しい価値観、新しい技術を活用した教育

Q Web配信授業の実施など、欠席児童・生徒の対応を小中学校が格差なく行うことを要望する。また、教育委員会から学校への周知について伺う。

A オンラインによる授業配信を含め、児童・生徒本人のあらゆる意向を踏まえた上で個に応じた対応をしている。現在、不登校児童・生徒の未然防止、早期発見・対応を目的とした「不登校児童生徒への対応の流れ」について、教員間の共通認識を図っている。

観光を通じた移住促進政策の取り組み

Q 三島市は沼津市との合同移住バスツアーなどにアプターフォローを伺う。

A 合同で移住者へのアンケート調査を行い、多くが両市を候補に検討していたため合同でバスツアーを実施した。参加者の反応は大変良好で、今後は移住相談会や市内のイベント情報などをお知らせしていくほか、物件案内等につながる仕組みを検討していく。

他の質問事項
廃棄物再利用としてメルカリの活用



障がい者への日常生活用具の給付

Q イヤーマフを日常生活用具として、給付対象とすることは可能か。また、その場合の条件はどのようなものになるか伺う。

A 療育手帳所持者等のうち、イヤーマフを必要とする方には給付できるよう、基準額や耐用年数、申請の際に必要な医師の意見書等を含めて条件などの検討を行い、令和6年度当初予算に計上する準備を進めていく。

三島市消防団ドローン隊の免許取得支援

Q 今後の活動に期待ができるドローン隊に必要な可欠なドローンを操縦するための免許取得費用に、補助を行うてはどうか。

A どの隊員が出勤してもドローンを飛行させることができるよう、より多くの隊員に二等無人航空機操縦士の国家資格を取得してほしいと考えており、令和6年度は国の補助金等を活用し、複数名分のドローン免許講習に係る予算の確保に努めていく。

他の質問事項
佐野あゆみの里における日中一時支援事業



公共施設の活用などキッチンカー出店者支援

Q 公共施設の活用などにより、業界支援、公共施設全体の活性化や三島市の魅力発信にもつなげる施策立案の可能性について伺う。

A 三島市まちなかりノバーション推進計画の戦略に、キッチンカー等による食のイベントを明記しており、令和4年度には白滝公園周辺でのマルシェを開催した。事業者の新たな販売機会創出や計画の具現化に向け、関係機関と連携し支援策策について検討していく。

大場地区区画整理事業の課題と市の支援

Q 周辺住民にも歓迎される事業とするため、従前より安全・安心な治水対策や周辺道路整備など現時点における三島市の支援策を伺う。

A 治水対策については、国の協力を得る中で内水解析モデルによる想定雨量と必要貯留量等のシミュレーションを行い、検討を進めていく。なお、現時点で周辺道路整備の計画はないが、区画整理区域については、歩道も含め余裕のある幅員の道路整備を想定している。



新庁舎建設費用

Q 現在はいずれの案も庁舎建設単価が二坪あたり約235万円だが、社会情勢と民間感覚を鑑み、建設費用を大幅に見直すことは今後あるか。

A 現在は、事業の骨格となる基本構想の策定段階であり、示している概算事業費は国土交通省の新営予算単価を用いた大まかな目安である。今後も各段階で検討を重ね、できる限りコスト削減しながらも、長期使用できる庁舎として、必要な品質や性能の確保を図っていく。

着工目前の三島駅南口東街区再開発事業の全容

Q 着工を1月に控えた今、主たるコンセプトでもある広域健康医療拠点としての医療施設に係る順天堂大学との交渉内容は。

A 交渉相手の立場も尊重し、相互の信頼関係を構築していくことが不可欠であり、設計面など事業関係者間の協議は進んでいるが、具体的に説明する段階には至っていない。関係者の信頼関係と市民への説明責任のバランスに配慮しつつ、進捗状況をお知らせしていく。

他の質問事項
ホテル交渉内容と市が今後得る借地料は



三島農兵節の普及と担い手育成のために

Q 農兵節の踊り手をもっと増やすため、市民はもとより市外在住者、近隣住民、観光客も参加できる大盆踊り大会を開催してはどうか。

A 毎年、三嶋大祭り農兵節総踊りを宝物館前広場で開催している。これをグレードアップすることで、多くの市民や近隣住民、インバウンドを含む観光客が、世代や経験を問わず気軽に参加できる催しとなるよう、三嶋大祭り実行委員会へ働きかけを行っていく。

障がい者の差別解消に本腰を入れる取り組み

Q 障害者差別解消法改正法施行により令和6年4月から全事業者の合理的配慮が義務となる。民間企業・事業者向け環境整備をいかに行うか。

A 広報みしまおよび市ホームページに障害者差別解消法の改正内容や相談窓口について分かりやすく掲載し、商工会議所の協力を得ながら、民間企業・事業者の合理的配慮の提供を促すとともに、より相談しやすい環境を整えていく。

他の質問事項
小中学生対象の三島農兵節クラブ創設の有効性




高田 康子
(緑水会)



本間 雄次郎
(維新と無所属の会)





横山 雅人
(新風会)



ボルダリング練習場の設置

市民体育館の大規模改修工事に併せ、体育館内にボルダリングの練習場を整備してはどうか。

市民体育館大規模改修工事は既に設計が完了し、令和5年度入札予定のため、大規模改修工事に併せてボルダリング練習場を設置することは難しい。大規模改修工事後に、市民体育館の屋内外への設置の可能性について調査研究していく。

観光道路といえる国道136号沿いの除草

国道136号沿いの雑草を民間団体と協働で環境美化としての除草をしてはどうか。

県管理道路の清掃美化を目的としたボランティア活動団体を支援する、しずおかアダプト・ロード・プログラム制度がある。この制度を活用して頂き、清掃活動の際には、協働作業における市の役割として、清掃後のごみ収集や処分を担う。



他の質問事項
樹木等の越境と廃棄物等のごみの野焼き問題



古長谷 稔
(改革みしま)



自助と共助、防災力強化に向けた取り組み

市内町内会の自主防災組織が進める、自助・共助を強化する取り組みや訓練内容等を各防災組織間で情報共有できないか。

市ホームページでは自主防災活動好事例集や重量物除去訓練の動画など、自主防災訓練の参考となる事例等を公開している。さらなる取り組みとして、各自主防災組織が実施する訓練一覧のホームページへの公開や、自主防災組織事務説明会での配布を検討する。



誰一人取り残さない、重層的支援体制の整備

市民の困りごとの把握を民生委員や町内会長に頼りすぎないように、重層的支援体制の整備を求めているが、今後の取り組みを伺う。

体制整備には、地域住民や支援関係機関等との間で、意見交換や対話を繰り返し、目的意識を共有するプロセスが重要であるため、十分な準備期間を取り、丁寧に合意形成を図ることが必要と考えている。引き続き、重層的支援体制の構築に向け調査研究をしていく。



服部 正平
(日本共産党議員団)



市管理の河川の水質保全に向けた取り組み

柳郷地川の水質がBODは非常に高い。その水が稲倒れに関係していると思われる現象が起きている。水質調査・汚染の要因把握を求める。

柳郷地川の水質調査は毎月実施している。BOD上昇の要因を特定することは困難だが、柳郷地川は畜産排水が流入する河川であり、BODの値は排水の水質に大きく左右されるため、要因の可能性があると推測できる。



※BODとは…水の汚れを微生物が分解するときを使う酸素量のこと。水が汚れているほど高数値となる。

市内各所の用水路・側溝の安全対策

用水路に人が転落したとの一報を受けた。全国各地で多発している状況もある。事故防止に向け、ガイドラインを策定してはどうか。

水稲が盛んな自治体では、用水路への転落事故が多発していることからガイドラインを策定している。三島市においては、危険箇所に対し速やかな対応をすることで事故を未然に防いでいることから、現時点ではガイドラインの策定は考えていない。



河野 月江
(日本共産党議員団)



市内小中学校体育館へのエアコン設置

異常な暑さから子どもたちの命と健康を守るため、国の補助金を活用し、可能な体育館から設置を進めることを求めるが、見解を伺う。

体育館へのエアコン設置には、効率的に快適な空間を確保し、また国の交付金の要件としても断熱性能を高める工事が必須であるため、教室等と比べると多額の費用が想定される。引き続き、断熱性能の確保やエアコン設置の手法について調査研究していく。



現行の市街地再開発事業の経済効率性

総事業費261億円の本事業だが、費用便益比(便益/費用)が1.0を維持できる事業費と、それに対応する市の補助金はいくらなのか。

再開発事業単独で費用便益比が1.0となる事業費は214億円程度と見込まれる。補助金額を明確に示すことは難しいが、参考として、令和5年度国庫補助金要望時の事業費と補助金額の割合から算出すると、国・県・市の総額で約87億円、うち市負担分は約29億円となる。

他の質問事項
順天堂進出に係る市の医師会への対応の経緯



岡田 美喜子
(新未来21)



高齢者が住み慣れた地で暮らし続けるために

介護サービスを受けるための申請から認定までに時間を要し、同居家族から不安の声がある。同居介護のケアラー支援策を伺う。

介護者手当支給、介護者はり灸マッサージ治療費の一部助成、紙おむつ給付などの事業、認知症の方の家族会開催やケアラー手帳配付を行っている。また、介護支援専門員の資質向上のための研修委託や、各地域包括支援センターが後方支援として共に関わり、相談に応じている。

児童・生徒が安心して登下校するための安全策

市内で通学途中の児童2人が立て続けに車に衝突される事故が発生した。道幅も狭く車の通行量が多い道路であるが、安全策を伺う。

実施可能な安全対策を関係各課で検討した結果、シャリエ上岩崎公園方面から西に向かう直線区間に、沿道への出入りに配慮したうえで歩行者保護のためのポストコーン2本の設置と「歩行者注意」の路面標示を行うよう、現在手続きを進めているところである。



鈴木 文子
(公明)



不登校等児童・生徒の支援

不登校等児童・生徒に、オンラインを活用した学びの場と居場所を提供する、インターネット上のメタバース教室の開設について伺う。

多様な学びの場と居場所の確保として、ふれあい教室と校内支援室の整備に努めている。メタバース教室の開設については、費用面や運用面等において課題があると感じており、今後も情報収集を重ねるとともに、国や県の動向に注視していく。

「こども誰でも通園制度」システム導入

本格導入への課題を踏まえつつも、今後の実施にあたり、こども家庭庁が構築する予約システムを本市も導入すべきと考えるがどうか。

保育士不足の問題から制度導入の時期は明言ができない状況であるものの、仮に受け皿となる施設が市内に確保できていない状況であっても、他市町の施設への通園も想定され、対象者の認定などの事務が発生することとなり、制度利用者・施設・自治体を利用するこのシステムの導入が必要となる。



他の質問事項
乳幼児1か月健診と5歳児健診の拡充



佐野 淳祥
(緑水会)



10年間で倍増する特別支援学級の拡充

Q 市教育委員会も全校設置が望ましいとする特別支援学級だが、新設を該当者が希望した場合、設置に向けて取り組みができないか。

A 居住区における特別支援学級の設置を望むご家庭がある場合には、丁寧に面談しながら、該当する幼児や児童・生徒の居住校区および対象人数を把握したうえで、必要に応じてアンケートを実施するなどし、その結果をもって県にも働きかけ開設に向けて取り組んでいく。

三島市民文化会館のコンセッション方式導入

Q 文化庁は長期間の契約が可能なコンセッション方式によって、市民により充実したサービスの提供を促しているが、三島市でも導入できないか。

A 市民文化会館は平成17年度から指定管理者制度を導入しており、コンセッション方式と指定管理者制度との併用による長期の契約の課題などを整理し、今後、市民文化会館の性質や現状を踏まえながら、効果的で効率的な運用方法を検討していく。



他の質問事項
「健幸ウォーキング・パトロール」の普及



宮下 知朗
(新未来21)



奨学金返還支援制度の要件緩和を

Q 若者のさらなるUターン・定住を促進するため、奨学金返還支援制度における補助要件の緩和を提案するが、見解を伺う。

A 就業に関する要件の緩和を行い、地元でUターンした若者が広く支援対象となるよう制度の見直しを図る。また、国において移住就業支援補助金の制度拡充が検討されているため、こちらの動向も注視しながら、支援対象の偏りや不公平感のないよう、慎重に検討していく。

歩道・道路における修繕対応の情報共有を

Q 歩道や生活道路の修繕対応の状況は、現状分かりにくい。ホームページ等で情報を公開し、共有できる体制を構築できないか。

A 市道の不具合・損傷等については、道路パトロールや自治会・町内会からの地域要望、電話や市民メールなどの市民通報で把握している。市民通報にアプリを利用した通報システムの導入について調査研究を進めるほか、ホームページでの修繕対応状況の公開も検討していく。



他の質問事項
就労場所確保に向け推進する企業誘致の動向



土屋 利絵
(改革みしま)



精神疾患にも配慮した地域包括ケアシステム

Q 精神的な課題を抱える方々にも対応した地域包括ケアシステム「にも包括」を国は進めていく方向性だが、三島市の見解は。

A 三島市障がいと暮らしを支える協議会において、協議の場の設置を進め、精神障がいのある人の精神科病院から地域生活への移行促進等、必要な支援を地域で包括的に提供し、自立した生活を支援するための体制づくりの協議を継続的に行っていく。

大場地区土地区画整理事業

Q 令和7年度の市街化区域編入、農地の都市的利用転換を目指す、組合事業とはいえ三島市の役割は大切。市の役割について伺う。

A 開発を実現する前提条件となる市街化区域編入および農振農用地の除外手続きは、市として最も重要な役割と認識している。調整スケジュールはタイトであるが、準備組合と事業化推進パートナー企業と連携を密に図りつつ、国および県との協議に注力していく。



村田 耕一
(公明)



乳がん検診を30歳代から行うことはできないか

Q 20〜39歳の若年がんの約80%が女性で、そのうち乳がんが34・2%である。現在乳がん検診は40歳以上が対象だが30歳代から行うことはできないか。

A 国の指針によると、乳がん検診は40歳以上の女性に対してマンモグラフィを実施することとなっており、30歳代への検診は推奨しないとされているため、その年代に対しては自分の乳房を意識する生活習慣であるブレスト・アウェアネスを普及していきたい。

燃えるごみで出せる剪定枝等の長さ制限緩和

Q 燃えるごみで出せる剪定枝などは50cm以下、草などは30cm以下としているが、粉碎機を導入して長さ規制を緩和できないか。

A 本市の焼却処理施設には、粉碎機を設置するスペースがないため、粉碎機を設置することは難しい。近い将来、新たな焼却処理施設の建設が必要になるため、今までより大きなごみも焼却可能となる施設を検討するなど、市民の皆さまの利便性向上に努める。



他の質問事項
幸原町通学路の通学時間帯一方通行交通規制



石井 真人
(新風会)



市民に開かれた自治体と対話型行政の推進

Q 「みなさんのご意見箱」や自治会からの「各種要望事項」で頂いた意見と、行政からの回答や取組状況を可視化してはどうか。

A 市民の皆さまから頂いた公共性のある意見や要望の取組状況の可視化について、その内容とそれに対する市の回答をホームページに掲載し、市民とその情報を共有することは、市民の皆さまと共に考え、共に創るという共創のまちづくりに繋がるものと考えられるため、今後、検討していく。

障がい者にやさしい街づくりに向けて

Q 現在、西地区に風水害時の指定緊急避難場所がない状況のため、障がい者や高齢者の不安解消のために西小学校を指定してはどうか。

A 令和5年8月に静岡県が公表した境川の洪水浸水想定区域図によると、西部地区の広い範囲に最大30cmから50cm程度の浸水が想定される結果が示されたため、令和6年の出水期から、風水害時においても西小学校に避難できるような準備を進めているところである。



他の質問事項
三島駅からスカイウォーク区間のバス増便

議会活動報告

11/2(木)議員研修会を開催しました

(株) 廣瀬行政研究所代表取締役の廣瀬和彦氏を講師に招き、「地方議会議員に求められる役割と留意点」をテーマに議員研修会を開催しました。

研修では、近年の地方自治法の改正状況や議員の役割を改めて確認し、議会機能をより高めるための他市町の先進的な取り組みについてお話を伺いました。

また、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントへの理解を深めるとともに、議会としての防止策や対応策を確認しました。

今回の研修を生かし、今後も議会の資質向上に努め、ハラスメントのない三島市議会を目指していきます。



議会の活動

10月

- 2日 議会だより編集委員会
- 4日 各派代表者会議
- 11日 各派代表者会議
- 25日 議会運営委員会
箱根町・三島市議会議員
合同勉強会
- 27日 議会報告会運営会議

11月

- 2日 議員研修会
- 8日 議会運営委員会
- 17日 議会運営委員会
- 21日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 28日～12月14日
11月定例会
- 28日 各派代表者会議
本会議（議案審議）
議会だより編集委員会

12月

- 6・7・8・11・12日
一般質問
- 7日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 12日 各派代表者会議
- 14日 本会議（議案審議）
各派代表者会議
- 15日 議員説明会
議会だより編集委員会
- 18日 議会運営委員会

訂正のお知らせ

みしま市議会だより令和5年11月1日号11ページ2段目の佐野淳祥議員の一般質問記事につきまして、1問目と2問目の回答部分を入れ違えて掲載する誤りがありました。正しくは下記のとおりです。お詫びして訂正いたします。

「#不登校は不幸じゃない」について

他の質問事項
A 今でも多くの自治体が参考とする昭和の論文を引用しているが、現状、市における業務の増加に加え、自動車での来庁者も増えていることを考慮し、DX技術の進展や人口減少なども加味して、駐車場の必要台数を設定した。

Q 滞留時間20分、窓口利用0.9%としているが、DXが導入される前の数値と思われる。計算利用したこの数値はいつの時代のものか。

駐車場240台の計算式数値の根拠

A 現状の分散している施設の利用状況を考慮した上で、ピーク時の利用台数等を割り出すことは非常に困難であり、仮に詳細なデータを集積する場合、各駐車場に長い月日をかけ、多くの人員を配置し分単位で状況を把握する必要があり、調査に要する費用も膨大となる。



Q 50億円をかける立体駐車場を建設するにあたって、詳細な現状の実証データもなく発表し、議論することは正しいやり方なのか。

市役所建て替えにおける立体駐車場整備



佐野 淳祥
(緑水会)



三島市議会豆知識
女性議員の割合県内3位
三島市議会は、在職議員22人に対し女性議員が7人で、女性議員の占める割合(31.8%)が県内3位となっています。

※ R 6. 1. 1 現在

2月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
2/11	12	13	14 本会議 (議案審議)	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26 本会議 (代表質問)	27	28	29 常任委員会 (予算審査)	3/1	2
3	4 常任委員会 (予算審査)	5	6	7	8 本会議 (一般質問)	9
10	11 本会議 (一般質問)	12	13 本会議 (一般質問予備日)	14	15 本会議 (議案審議)	16

本会議は午後1時、常任委員会は午前10時からの開会予定です。日程は変更になる場合があります。



弓場 重明
(維新と無所属の会)



水の都・三島、その水が危ない

Q 加茂地区に赤水の溢水がある。上流にある最終処分場からの無機・有機の汚染が考えられる。特定毒性物質を含む水質調査の有無は。

A 令和3年度に調査を実施し、委託業者から第一埋立地の原水とは関係性がないことの報告を受けている。また、重金属7種を測定し、いずれも測定下限値以下であった。そのため、再度調査する予定はないが、赤水の発生については、今後もしっかり注視していく。

高齢者バス等利用助成券を使いやすく

Q 高齢者バス等利用助成券は「大変使い勝手が悪い」「無駄では」との声がある。本来の目的を踏まえ、今後の利便性向上策を伺う。

A 本事業の目的は外出支援であるため、利用枚数を拡大した令和5年度以降の利用状況を分析する中で、今後の利用方法を研究していく。また、助成券は、令和6年度から利用実績のある方等は郵送で交付し、実績のない方が希望する場合は申請により交付する方法を検討していく。



男児の性被害者への対応

Q 男性の性被害者の70%は誰にも相談していないとの調査結果がでている。男児にも被害者がいることを想定し、学校での対応を伺う。

A 学校では、男子に特化した相談対応は行っていないが、生活アンケートや心の相談フォーム等を活用しながら、男子、女子の区別なく、一人一人の悩みや相談に丁寧に対応している。今後も、性被害についての理解を深められるよう学校に情報提供していく。

伊豆縦貫道周辺の空地の利活用

Q 伊豆縦貫道周辺空地の草の繁茂が問題である。周辺の通学路を安全な場所にするために、空地を駐車場などに活用できないか伺う。

A 伊豆縦貫道周辺の空地は、国土交通省沼津河川国道事務所管理であることから、まずはフェンス際の除草等を強く働き掛ける。また、防草シートや張りコンクリートの設置などの適正な管理を要望していくとともに、駐車場への活用についても要望していく。



他の質問事項

市内へ地区社協の設立を促す取り組み



野村 諒子
(緑水会)



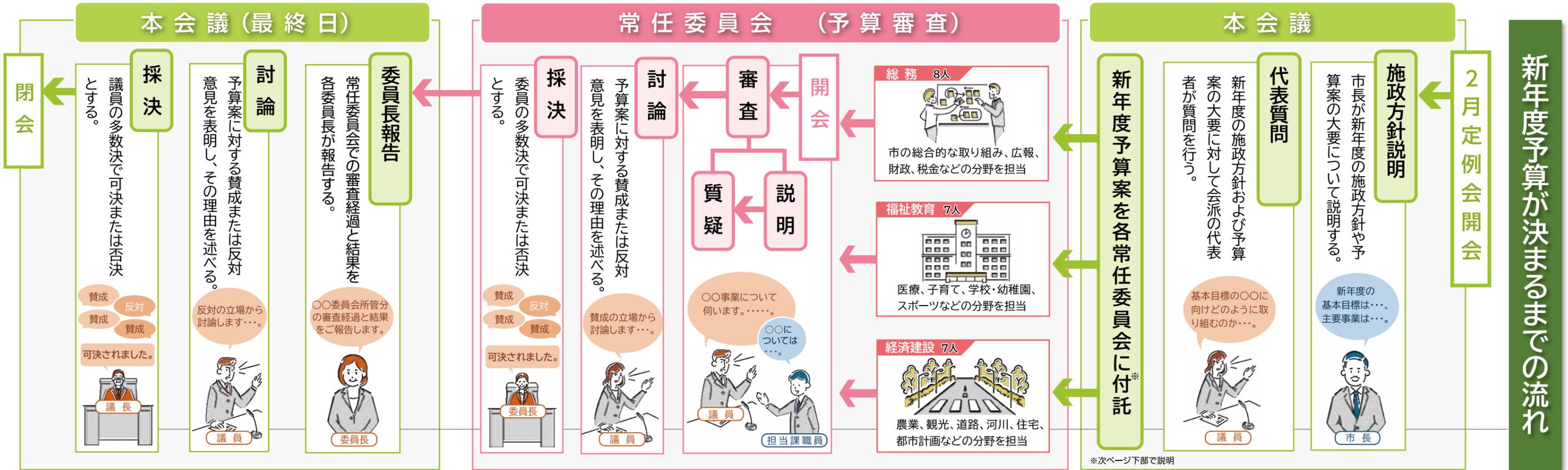
新年度予算のしくみ

三島市がさまざまな事業を実施するにあたっての1年間のお金の収入・支出の計画を「予算」、その執行結果を「決算」といいます。

この「予算」や「決算」の決定には、議会の議決が必要とされています。

「予算」は新年度が始まる前の2月定例会、「決算」は予算執行の翌年度の9月定例会で議会が審査・議決を行います。

今回は、2月定例会の開催に先駆け、新年度予算をめぐる市と市議会の動きをご紹介します。



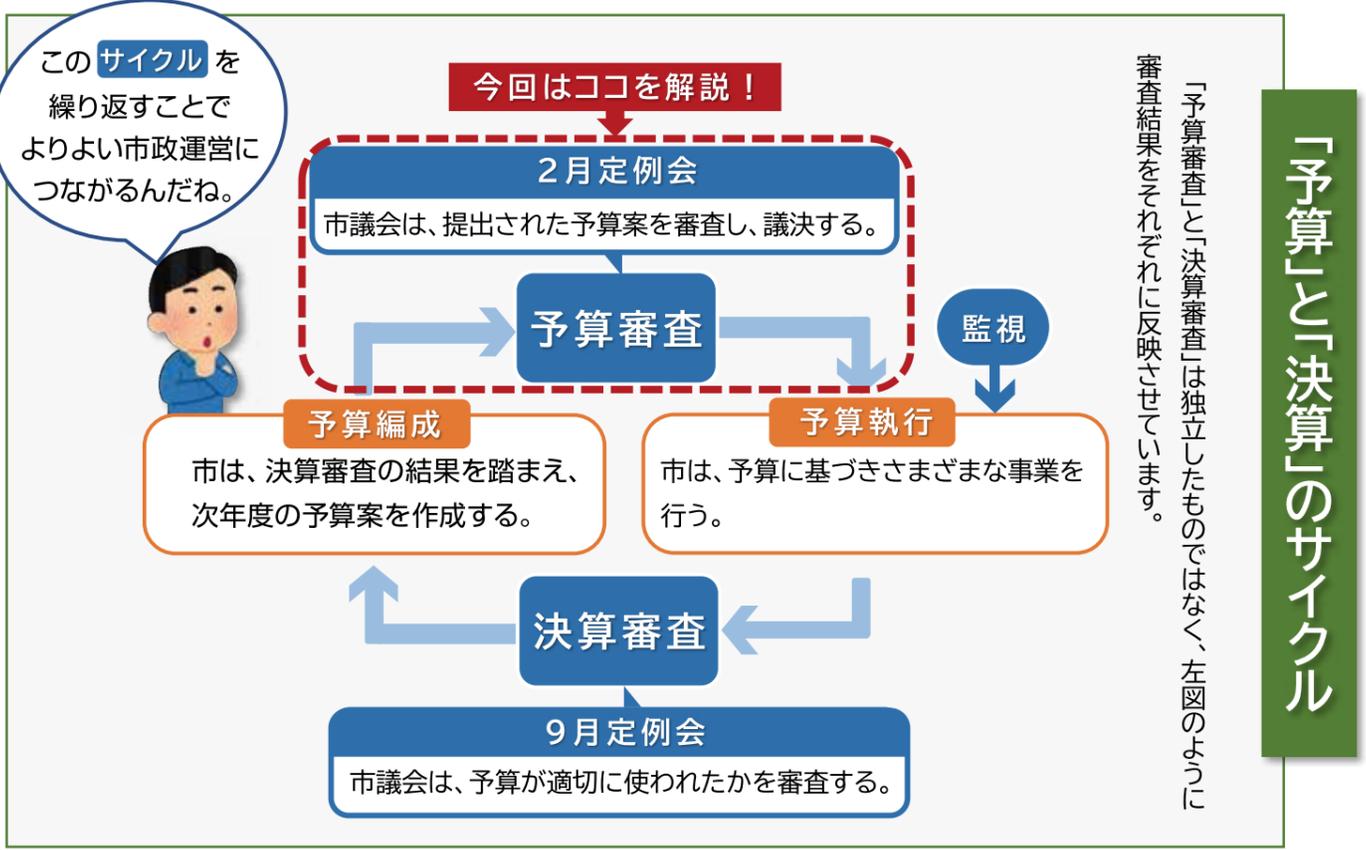
スマホでも！ パソコンでも！ 議会中継を見てみよう



録画映像の場合は、映像を10秒ずつ戻すことができます。

ライブ中継に限り、画面下部に字幕が配信されます。

- 1 三島市議会ホームページから議会中継サイトにアクセスします。
- 2 サイトのトップページでご覧になりたい日程を選択します。
- 3 動画画面をクリックすると、中継映像または録画映像が再生されます。



「付託」ってなんだろう？

議会に提出される議案には、質疑や討論を経てその日の本会議で採決するものと、常任委員会での審査を経て後日の本会議で採決するものがあります。後者のように審査の場を本会議から委員会に移すことを「付託」といいます。

三島市議会においては、主に、当初予算、決算、請願、陳情等が付託されています。

傍聴席のご案内



三島市議会の本会議は原則として誰でも傍聴することができます。
 次回の2月定例会は、2月14日(水)から開会の予定です。ぜひ傍聴にお越しください。※日程は12ページに掲載
 なお、本会議は市議会ホームページからインターネットライブ中継および録画映像でご覧いただけます。
 インターネットライブ中継では、字幕配信を行っておりますので、ぜひご活用ください。



1 市役所駐車場南側にある「傍聴席・第2会議室入口」から入ります。



2 正面の階段を3階まで上ってください。



3 3階まで上ると、傍聴席入口の扉がありますのでご入室ください。



4 入って左側に会議資料が置いてあります。
 おひとり様1部ずつご自由にお持ちください。



5 こちらが傍聴席です。
 数に限りがあるため、先着順となります。

下記の事項はご遠慮ください



1. 携帯電話の通話



2. 撮影・録音



3. 発言



4. 飲食
 (水分補給を除く)



5. 拍手



6. 帽子・マフラー
 等の着用

議会だより 編集委員会

委員長：河野 月江 副委員長：村田 耕一 委員：沈 久美、高田 康子、宮下 知朗、永田 裕二、本間 雄次郎